

様式

市民意見提出手続（パブリック・コメント）の実施結果について

「宗像市地域公共交通利便増進実施計画【第1弾】（素案）」について、市民意見提出手続（パブリック・コメント）を実施しました。その結果は次のとおりでしたので、報告します。

計画・条例案等の名称	宗像市地域公共交通利便増進実施計画【第1弾】（素案）	
内容	宗像市地域公共交通計画に定めた施策についての実施計画となるもの	
実施期間	令和6年11月18日（月）～令和6年12月20日（金）	
意見提出状況	2人	8件
提出された意見の内容及びその回答	別紙「宗像市地域公共交通利便増進実施計画【第1弾】（素案）」に関する市民意見提出手続の意見及びその回答」のとおりです。	
問合せ先	都市再生部 都市再生課 地域政策交通係 〒811-3492 宗像市東郷1丁目1番1号 TEL：36-9777 FAX：36-7005 メール：saisei@city.munakata.lg.jp	

様式

宗像市地域公共交通利便増進実施計画【第1弾】（素案）に関する

市民意見提出手続の意見及びその回答

箇所	意見	対応	回答
P4	本計画の目的として「～利便増進実施計画」を策定するものという説明は、おかしいと思います。 「～実施計画を示すもの（または、定めるもの）です。」と記載するべきではないでしょうか。	一部修正	左記の記載は原案どおりとしますが、目的をさらに明確化するため、「地域公共交通サービスの実現を図るため」を「地域公共交通サービスの実現を図ることを目的に」に修正します。
P9	「ハブ&スポーク型ネットワーク」が、地域住民のニーズにうまく対応する形で実現すれば、目的地への移動の利便性が良くなることが期待できる。	原案どおり	目的地への移動の利便性が良くなることで、地域住民のニーズに対応することが期待できると考えています。
P9, P10	将来イメージ図及び「表 地域公共交通の区分と役割」において新サービスであるBRTと公共ライドシェアが、今後重要だとされているが、各々の説明がないため一般の市民には理解しにくかった。 パブコメを募集するのであれば、「地域公共交通計画」の中にある簡単な説明を、本計画の中にも入れると良かったと思った。	一部修正	BRTと公共ライドシェアについて、内容の説明を記載するよう修正します。
P19	参考として記載されている岬地区・池野地区の交通ネットワークの再編については、代替交通への移行に地域住民が大きな不安を抱かないように自治会やコミュニティとも十分連携して進めてください。	原案どおり	具体的な事業の実施準備が整った段階で関係するコミュニティ運営協議会等と連携して進めていきます。
その他（要望など）	宗像市にはJR九州の停車駅が2つ（赤間・東郷）あり、高頻度で利用するが、そこに行くまでの交通手段が無くなる。自分が使用する時間帯【早朝・夜】で利用できる便が現状でも物凄く少ないのに、廃線となると引っ越しをせざるを得ない。何も説明もなく廃線となるのは非常に困る。コミュニティバス・ふれあいバスを早朝の時間帯でも増やしてほしい。段階的に実施するのは分かるが、池野地区・河東西地区でも早い段階で実施してほしい。早急な対応をお願いしたい。	原案どおり	本計画は「宗像市地域公共交通計画」に基づき、「持続可能な地域公共交通ネットワーク」を構築するための「アクションプラン」として、利便性を向上する事業の具体的な実施計画を定めるものです。今後も市民の皆様への地域公共交通に対するニーズを反映できるよう事業を検討し、実施時期等を適宜示していきます。 また、コミュニティバスのダイヤ改正を令和7年度に予定しており、地域で路線や時刻表について検討してもらおう各地区コミュニティ運営協議会に依頼しているところです。その際、ご意見をいただけますと幸いです。

その他(要望など)	来年度以降、具体的な事業の実施準備が整った段階で、地域住民や路線バス利用者に対して丁寧に分かりやすく説明し、意見を聴く機会を設けてほしい。そういう取り組みが、新交通サービスへの不安をなくし、利用者増に繋がると思う。	原案どおり	具体的な事業の実施準備が整った段階で、市民のみなさまへの周知を丁寧にっていきます。
その他(要望など)	令和7年度は、西鉄バス鐘崎線の存続が決まったとしても、令和8年度以降は廃止される公算が強いので、特に通勤・通学のJR駅へのアクセスが確保できるように代替交通の検討を進めてください。	原案どおり	路線の再編も含め、代替交通の検討を行います。
その他(要望など)	日の里地区での成功は、日の里団地再生という大きなプロジェクトの一環として取り組んだことも大きいと感じています。市内他地区への導入は、条件が適しているか慎重に検討してください。	原案どおり	オンデマンドバスの他地区導入については、拠点から遠い地域や、利用者が見込まれるなどの基準を定めて慎重に検討していきます。